

浸食対策

- 目的は汀線の後退を防ぐ
砂浜の消波機能を維持する
- 侵食の理由
 - 河川からの流入土砂量の減少
 - 沿岸漂砂の遮断
 - 海流や海岸地形の変化

砂浜の消波機能

- 砂浜減少による被災



越波と護岸の被災



浸食対策工法

- 突堤（群） 例：天橋立
- 離岸堤 例：皆生海岸
- 潜堤
- ヘッドランド
- 養浜 例：須磨海岸、白浜海岸
- サンドバイパス 天橋立
- 緩傾斜護岸

突堤—突堤群

大洗海岸

天橋立



白石海岸

離岸堤



建設省中国地方建設局倉吉支事事務所

緩傾斜護岸

大野海岸、胆振海岸



潜堤 — 人工リーフ

鐘崎海岸（福岡）



新潟海岸



珊瑚礁にできるリーフ地形



養浜 ー 人口海水浴場

須磨海岸



白浜海岸

ヘッドランド

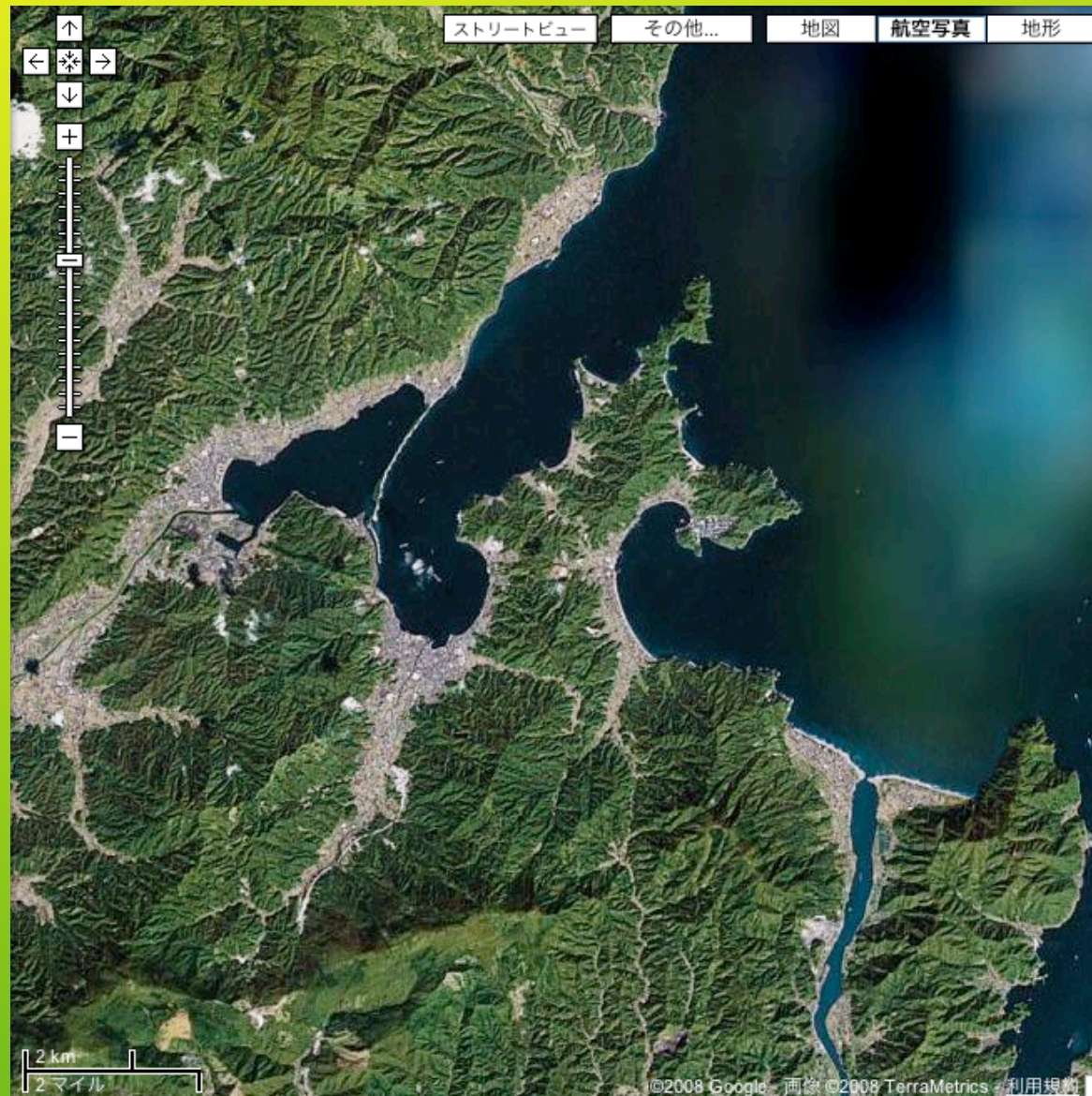


サンドバイパス

天橋立



天橋立



天橋立



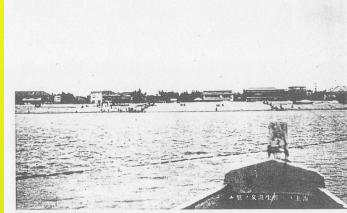
天橋立



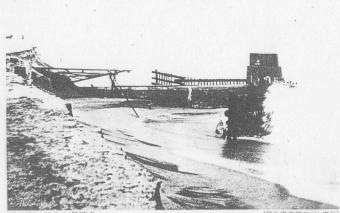
天橋立







海から望む海岸風景地を望む。すでに海岸侵食が激しかったがまだ古い砂浜が見られる。昭和18年頃の海岸風景。



波に吞まれる1号漁港。昭和18年9月30日。



暴風雲巻く。打ち寄る荒波の前に避難家はしるくも倒壊した。(熊本県観光文化課提供) 昭和18年9月30日。



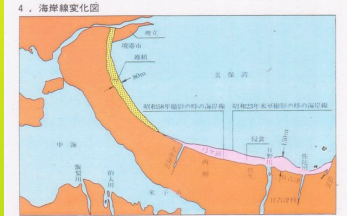
波と陸り地先防田。熊本県漁業改良所より相次ぐ海岸の侵食により防田の崩壊は顕著。昭和15年。

3. 計画資料

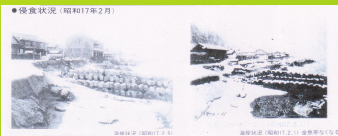
設計 沖ノ島防波堤 0.7m
 幅員 0.1km
 水深 0.5km
 海抜 16-17m

計測地	観測	観測
対岸距離 1,000m	左 観測位 TP=0.379	観測最大 計測
最大平均風速 12m/sec	西 観測位 TP=0.588	観測年11月 0.65-1.01
吹 起 時 刻 18 時	東 観測位 TP=0.379	最大 0.909m 4.000m
風 向 北 東	南 観測位 TP=0.022	最大 0.909m 4.000m
	北 観測位 TP=0.022	最大 0.909m 4.000m
	南 観測位 TP=0.022	最大 0.909m 4.000m
	東 観測位 TP=0.022	最大 0.909m 4.000m
	西 観測位 TP=0.022	最大 0.909m 4.000m
	北 観測位 TP=0.022	最大 0.909m 4.000m
	南 観測位 TP=0.022	最大 0.909m 4.000m
	東 観測位 TP=0.022	最大 0.909m 4.000m
	西 観測位 TP=0.022	最大 0.909m 4.000m

設計 沖ノ島防波堤 0.7m
 幅員 0.1km
 水深 0.5km
 海抜 16-17m



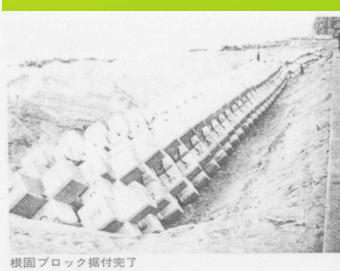
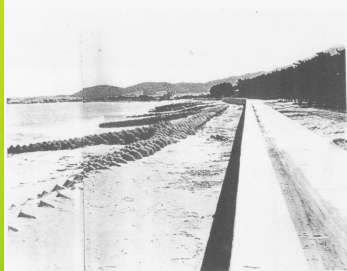
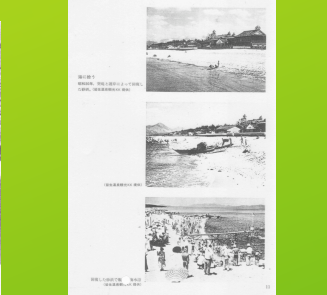
昭和17年2月。矢印は数日後に消えた金魚草。おすから自壊で家がなくなっている。この年、他に2-3軒の旅館が壊滅した。熊本県観光文化課提供。



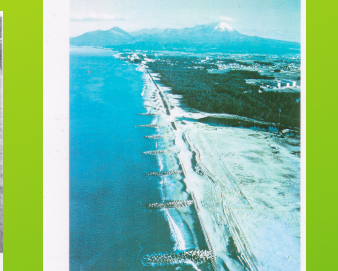
●後戻り状況 (昭和17年2月)



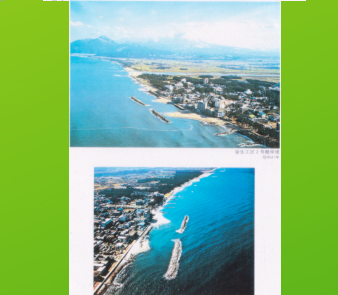
空から望む。昭和15年。熊本県漁業改良所より相次ぐ海岸の侵食により防田の崩壊は顕著。昭和15年。



根固ブロック据付完了



●断崖修復前 (昭和14年)



石川県千里が浜

